

2023年11月20日

各位

新生企業投資株式会社

**日本インパクト投資2号ファンドによるBPOテクノロジー株式会社への投資実行について**

新生企業投資株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平、以下「当社」）の子会社である新生インパクト投資株式会社（東京都中央区、代表取締役 黄 春梅、高塚 清佳）が一般財団法人社会変革推進財団（東京都港区、理事長 大野 修一）と運営する日本インパクト投資2号ファンド（以下「はたらくFUND」）は、BPOテクノロジー株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 山田 真也、以下「BPOテクノロジー」）が実施する第三者割当増資を引き受けました。

BPOテクノロジーは、「オンラインアシスタントを、日本でも当たり前。」をビジョンに掲げ、バックオフィス業務をオンラインアシスタントが請け負うサービス「フジ子さん」を展開していません。

SBIグループは創業以来、「企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できる」という変わらぬ考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指しています。はたらくFUNDは、SBIホールディングスの連結子会社である当社が国内の子育て関連事業へのインパクト投資\*1を行うため、2017年1月に邦銀グループが運営する初のインパクト投資ファンドとして設立した日本インパクト投資1号ファンド（通称「子育て支援ファンド」）の後継ファンドです。「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指しています。

日本では、生産年齢人口の減少等を背景に今後も慢性的な人手不足が予想されており、中小企業でもこれが顕著です。一因として、子育て世代の出産育児や介護のための離職等により労働力率が低下する傾向があることが指摘されていますが、何らかの事情で従来の働き方が難しくなった方に「100%テレワーク×フレックス×急に休めるチーム制」という柔軟な働き方を提供する「フジ子さん」には、埋没した労働力の掘り起こしへの貢献が期待されます。

「フジ子さん」では、最新のITツールを活用した業務効率化のための自動化提案も併せて行うことから、DX化に課題を感じている顧客企業にとって、バックオフィス業務のアウトソースが同時に業務DXの推進にも貢献しています。さらに、BPOテクノロジーでは、業務の受注を通して蓄積してきた知見やノウハウを活用し、ヒトに代わってデジタルが一部業務遂行する取り組み（デジタルレイバー化）を進めていく方針です。

こうしたBPOテクノロジーの事業が、場所や時間にとらわれずに柔軟に仕事を継続する機会の創出と、企業の人手不足や生産性の改善およびDXに繋がることを期待し、はたらくFUNDが目指す「多様な働き方・生き方の創造」に沿っていると判断し、今般のインパクト投資を実行しました。また、投資検討段階からBPOテクノロジーの事業が社会に与えるインパクトを測定・可視化し、その結果を経営や事業プロセスの改善に活かす「インパクト測定・マネジメント」\*2の導入についても経営陣と議論を重ねてきました。出資実行後も、社会的価値の創出と経済的価値の最大化の両面からBPOテクノロジーをサポートすることで、引き続き、インパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進してまいります。

※1 経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指す投資。 ※2 社会的インパクト評価を経営のPDCAサイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと。

**■ BPOテクノロジー株式会社の概要**

名称	: BPOテクノロジー株式会社
設立日	: 2017年2月
代表者	: 代表取締役社長 山田 真也
本社所在地	: 東京都中央区銀座六丁目14番8号
事業内容	: オンラインアシスタントサービス「フジ子さん」の提供

■ はたらく FUND の概要

- 名 称 : 日本インパクト投資 2号投資事業有限責任組合 (通称「はたらく FUND」)
- 設立日 : 2019年6月
- 無限責任組合員 : 日本インパクト投資 2号有限責任事業組合
- 無限責任組合員 : 新生インパクト投資株式会社
- 組合員 : 一般財団法人社会変革推進財団
- アドバイザー : 株式会社みずほ銀行
- 期 間 : 投資期間5年、組合期間10年
- 投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイターステージ企業
- URL : <https://hatarakufund.com>



以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126